

# 安岡家住宅の歴史を伝える「山北文化の会」



香我美町山北にある国指定重要文化財の安岡家住宅は、現在は保存修理が行われています。平成17年7月の指定を起点に「山北文化の会」を発足し、安岡家の歴史を伝える活動を続けています(現在会員数約30人)。会長の白石彰さんに活動のお話を伺いました。

■担当／広報編集委員 島村立法

【関連記事：10ページ】

## 地域の約30人でスタート

会長の白石彰さんと奥様にこの会の発足したきっかけをお聞きしました。

安岡家の土佐独特の郷土屋敷は平成17年7月27日に国指定重要文化財に指定されました。その時、お家を守っていらした安岡富美さんのお手伝いをしようと近所の人が集まり、「県の審議委員の方や地域住民たちで話し合い歴史や建物の事などを知る会を11月に開きました。」安岡家の安岡正俊さんの協力もいただき、安岡家住宅の公開日に勉強会をしてきたそうです。

13年前から毎年奇数月に定期集會を続け、現地案内などにも多くの皆さんが見学に来られました。

## 郷土の安岡家

二代目当主(廣助正雄)のときに郷土となり、土佐藩の役務に勤め、城下の「郷土お乗り初め」には山内藩主にお褒めをいただくほどの評判の郷土でした。また黒船の見回り役を務めたり、山内家のお姫様の接待などをした記録も残っています。

ます。その栄華を誇る主屋と米蔵・釜屋・道具蔵・雪隠があり、門3カ所(御成門・本門・百姓門)番屋、石垣、水路など郷土住宅を代表する建物として保存されてきました。近年の沈下・傾斜・雨漏り・白蟻による破損が著しく、平成24年から保存修理工事が始まりました。

## 安岡家の人びと

安岡家は幕末の土佐勤王党の志士も排出しています。戊辰戦争(寛之助)、天誅組(嘉助)、自由民権運動(道太郎)など歴史にも関わる家系だったので。

また、小説家の安岡章太郎も安岡家出身で、戦後文学界で「悪い仲間」「陰気な愉しみ」にて第29回芥川賞を受賞。「海辺の光景」で芸術選奨・野間文芸賞など数々の文学賞を受け、安岡家のルーツと歩みを描いた「流離譚」は大きな反響を呼び、日本文学大賞を受賞しました。

白石さんたちの会も「流離譚」を読み、安岡家を語る上で章太郎の存在の大きさを再認識しました。



▲白石彰さんと奥様のしげさん

来年は章太郎生誕100年です。「安岡家住宅」は保存修理工事が完了後、平成32年1月に一般公開が予定されています。それまでに、文学界の功績を後世に伝えるために「安岡章太郎文学碑」を門前に建立を目指し、実行委員会が設立されました。

## 香南市の宝物をしっかりと守り伝えたい

白石さんたちにとってはこの文学碑建立を一つの区切りと考えているそうで、「ぜひとも地元、県内全国の安岡文学ファンの皆さんから寄付を募っています」と協力を呼びかけています。次世代の地域の方、全国の若い方々に見てもらい、「安岡家の歴史と安岡章太郎の功績」をいつまでも語られる町の宝物になってほしいですね」と穏やかに思いを語ってくれました。



▲流離譚(上・下)

## 編集後記

▼10月といえばハロウィン。仮装を楽しんだり、ホームパーティーを開いたりそれぞれ楽しみ方があるようです。この秋皆さんはどのように過ごしますか？ (み)

▼これもよさこいで3年間仲良くしてくれてた子から、お手紙などをいただいた。日記風あり、クイズあり。もうものすごく可愛いものなつて(笑)と宝物にしていきます♪ (た)

▼公道走行が解禁なまたタンDEM自転車。以前、乗ったことがあるのですが、2人で漕ぐので坂道もスイスイ走れます♪疲れたらもう一人に漕ぐのを任せ、風を感じてひと休み(笑)。(り)

▼スポーツの秋到来♪と言いながらスポーツとは無縁の私ですが、先日の大坂なおみ選手のテニス全米オープン優勝には感動(笑)。今月号はサイクリング、相撲にボクシングとスポーツ関連記事が満載。ぜひご覧ください！(あ)

## 「広報へのメール」

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp  
香南市のホームページ  
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

## 問い合わせ先

山北文化の会(白石彰)  
☎ 55-0771

広報がスマホで読める!

マチイロ  
アプリダウンロードで最新号の配信を通知!

Kochi ebooks  
高知県の情報ポータルサイト